

からだにやさしいがん治療

check! 安全で適正な放射線治療 ～IMRT～



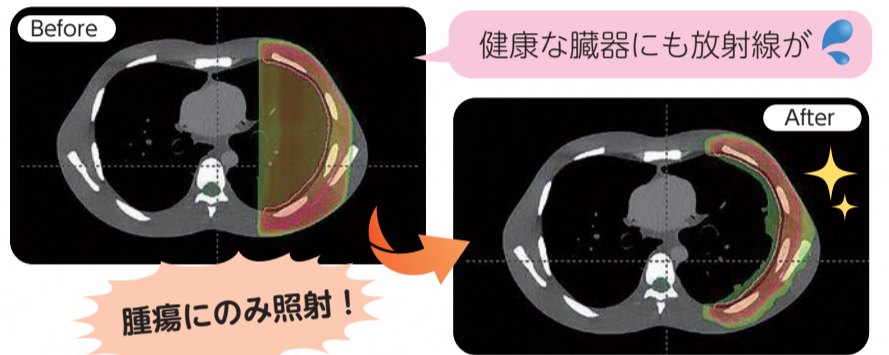
高精度放射線治療装置 TrueBeam の整備やスタッフの強化により、強度変調放射線治療 (IMRT) を行うことが可能となりました。IMRT は、空間的または時間的な放射線強度を変調させることで腫瘍のみに放射線を集中して照射し、周囲の正常な臓器への照射は避けることができる革新的な照射技術です。

これにより、合併症を軽減しながら根治性を高める放射線治療ができるようになりました。IMRT は前立腺がん、頭頸部がん、肺がんを始めとして多くのがんがその治療対象となり得ます。

これまでは県内で IMRT を行うことができるのは鳥取大学医学部附属病院のみでしたが、鳥取県東部においても、県民の皆様により安全で適正ながん治療を提供できるようになりました。



放射線治療スタッフ一同



健康な臓器にも放射線が

腫瘍にのみ照射!

check! 呼吸器外科分野でも低侵襲のロボット手術を開始



これまで、呼吸器外科の領域においてロボット手術を行えるのは、県内では鳥取大学医学部附属病院が唯一の施設でしたが、この度、当院でも皆様により良い医療として提供できるようになりました。全国でもロボット手術のトップクラスである鳥取大学医学部附属病院とは、呼吸器外科分野のみならず、診療において日ごろより強い連携をとっています。

ロボット手術は、患者さんの身体に負担の少ない新しい内視鏡手術として、今や全国に広がっています。3次元の視野で緻密な操作ができるため、これまでの内視鏡手術では難しかった手術をより安全に行うことができます。

当院においても、消化器外科や泌尿器科分野ではロボット手術をすでに行っており、今後も患者さんにやさしい治療を目指し、さらなる技術の発展に努めてまいります。

DPC 特定病院群(旧・DPCⅡ群病院)に指定されました!

我が国の急性期病院(約 1,760 の DPC 対象病院)は、「大学病院本院群」、「DPC 特定病院群」、「DPC 標準病院群」に分類されています。

DPC 特定病院群とは、『大学病院本院に準じた診療機能を有する』と考えられる医療機関で、当院は高度な医療や高難度手術を適切に数多く提供し、次代を担う医師の育成に努めている病院と認められたこととなります。

これからも引き続き、地域の医療機関との連携を図り、高度で質の高い医療の提供に努め、地域医療に貢献し続けていきます。

* DPC とは、大学附属病院や多くの急性期病院が採用している 急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度です。

大学病院本院群 (旧 I 群) 大学病院本院 全国：82 病院	DPC 特定病院群 (旧 II 群) 大学病院本院に準じた診療機能を有する病院 全国：181 病院	DPC 標準病院群 (旧 III 群) その他の DPC 病院 全国：1,501 病院
--	--	--

新型コロナワクチン 接種の効果と副反応



5月末時点、国内で承認済みのコロナワクチンは4種類あります。

オミクロン株の流行により感染や発症を予防する効果は下がりましたが、入院や重症化を予防する効果は高く、3回目接種を行うことでその効果は長期間持続し、4回目接種でさらに強化されることが報告されています。

コロナワクチンの追加接種はお済みでしょうか？

ワクチンの効果や副反応の心配から、3回目の接種は1、2回目と比べ敬遠される傾向にあるようですが、3回目接種後の副反応では、一部の症状の出現率に差はあるものの、おおむね1・2回目と同様の症状がみられます。

コロナワクチン3回目接種後の副反応

副反応	ファイザー	モデルナ
発熱 (37.5 度以上)	37.0%	48.9%
接種部位の痛み	85.6%	85.5%
倦怠感	66.7%	65.3%
頭痛	55.4%	53.4%

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業『mRNA ワクチン初回接種者に対する3回目接種後中間報告(6)2022.5.13』資料を基に作成



HBO 高気圧酸素治療 のご案内



高気圧酸素治療(HBO)は、からだの酸素が少ない状態(組織の低酸素環境)を改善したり、傷の治り(創傷治癒)を促進します。

また、足の血液の流れが悪いために皮膚に穴が開いたりする状態(末梢循環不全による足趾潰瘍)や、急に聞こえにくくなる耳の病気(突発性難聴)、放射線治療後の種々の障害や、潜水後の障害(減圧障害)など、多くの病気に適用され、有効性を示しています。更に、スポーツ外傷による関節や手足の腫れなどに対しても効果が示され、痛みが軽くなって運動に復帰できるまでの時間が短くなる例も見られます。

近年、エビデンスが蓄積されてきた高気圧酸素治療(HBO)ができる東部圏域唯一の施設として、治療前の評価を含めて、学会基準に則り、安全管理と専門的治療を行っています。

治療は、2.0～2.8気圧(大気圧の2～3倍)の治療圧を60分維持したカプセルホテルのような装置の中で、加圧と減圧を含めて約100分横臥した状態で行います。

入院で治療する場合がありますが、ほとんどは通院で外来治療が可能です。

初診時の一部受診料の変更について

当院では紹介状を持たずに受診した患者さんに「非紹介患者加算※」として、2022年2月1日より右表の加算料をご負担いただいております。これは、地域医療の役割分担を進める国の方針に基づき、重い疾患や緊急性のある患者さんの診療に支障が及ばないことを目的としたものです。

これまで通り、検査をご希望の患者さんや軽症の患者さんの受診も可能ですが、お近くの診療所やかかりつけ医の紹介状がない場合、割高となってしまいます。よって、当院初診の際は、お近くの診療所やかかりつけ医の紹介状をお持ちいただくことをお勧めいたします。

また、緊急入院が必要となった場合や病気や障害を理由とする公費負担医療制度の受給者などには、負担を求めません。ご不明な点は、当院ホームページをご覧ください。

※加算料(消費税込み)

●紹介状をお持ちにならずに来院された初診の方

内科 …… 5,500円 歯科 …… 3,300円

●当院での治療が終了して主治医が他の病院や診療所を紹介した後に、再度当院の受診を希望された方

内科 …… 2,750円 歯科 …… 1,650円

会話が見える
システムを
試験設置



会話の見える透明ディスプレイ「Raelclear(レルクリア)」を1階総合受付に試験運用として設置しました。難聴障がい者、高齢者など患者さんとのコミュニケーションを円滑にし、患者サービスの向上を図れればと思っています。

言語では日本語以外でも英語、中国語など多数の外国語にも対応しており、外国人の患者さんの不便さを解消するツールとしての期待度も高いと思われます。

是非、体験してみてください。